

令和 9 年度

総合型選抜 (一般受験者対象)

学生募集要項



本学では、インターネット出願を導入しています。
冊子による学生募集要項の配付は行いませんので、本学入試情報サイト
(<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/>) から閲覧またはダウンロードしてください。

令和 9 年 4 月入学者用の学生募集要項です。

愛知教育大学

目 次

各ポリシーの紹介	1
令和9年度 総合型選抜（一般受験者対象）入学者選抜日程の概要	4
1. 趣旨	5
2. 募集人員	5
3. 各課程・専攻・専修が望む学生像	6
4. 出願資格	8
5. 出願要件	9
6. 出願期間	9
7. 出願書類等	9
8. 出願手続	11
9. 受験票及び受験案内のダウンロード，印刷	12
10. 入学者選抜方法	13
11. 障害のある入学志願者との事前相談	17
12. 免許教科の決定について	17
13. 合格者発表	18
14. 入学手続	18
15. 学生寮への入寮について	19
16. 入学辞退手続	19
17. 不合格者の再出願	19
18. 教育・学習データ利活用について	19
19. 個人情報の取り扱いについて	20
20. 入学試験個人成績の開示	20
21. 安全保障輸出管理について	20
22. 「こども性暴力防止法」に関する対応について	20
◆愛知教育大学へのアクセス	21

卒業認定・学位授与の方針【ディプロマ・ポリシー】

愛知教育大学は、広域の拠点的作用を果たす教育大学として、人間理解と真理探究に努め、教育が直面する現代的課題への対応力を有し、子どもたちの未来を拓くことができる豊かな人間性と確かな実践力を身に付けた専門職業人の養成を使命としています。

そこで、規定の年限在学し、以下のような資質・能力を身に付けるとともに、所定の単位を取得した人に学士（教育学）の学位を授与します。

◆学校教員養成課程

- 1 学校教員として求められる基本的な資質・能力と実践的指導力
 - 1-1 子どもの個性を尊重し、一人一人に寄り添い学びを支援する力
 - 1-2 学校教育の意義や今日的な課題を理解し、先端技術を効果的に活用しながら、子どもの豊かな学びの実現に向けて実践する力
 - 1-3 学校安全と多様な子どもに対応できる基礎的な知識を身に付け、適切に学級経営を行う力
- 2 同僚、保護者や地域社会等と連携し協働する態度
- 3 自己を振り返り、絶えず向上心を持って学び続ける姿勢
- 4
 - ・幼児教育専攻では、子どもの発達過程を理解し、一人一人に応じた教育・保育を適切に行う力
 - ・義務教育専攻では、子ども理解に基づく生活指導や生徒指導、学級経営と、綿密な教材研究に基づく的確な学習指導を適切に行う力
 - ・高等学校教育専攻では、専門的な資質・能力を身に付け、教科の指導や学習方法の開発を行う力
 - ・特別支援教育専攻では、多様な障害のある子どもの状態と教育的ニーズを把握し、生活指導や学習指導、自立活動等の指導及び支援を適切に行う力
 - ・養護教育専攻では、学校におけるすべての教育活動を通して、健康教育と健康管理を適切に行い、子どもの発育・発達の支援に向けてコーディネートする力

教育課程編成・実施の方針【カリキュラム・ポリシー】

愛知教育大学は、広域の拠点的作用を果たす教育大学として、人間理解と真理探究に努め、教育が直面する現代的課題への対応力を有し、子どもたちの未来を拓くことができる豊かな人間性と確かな実践力を身に付けた専門職業人の養成を使命としています。

この使命を達成し、ディプロマ・ポリシーに基づいた学生を育成するために、以下の科目等で教育課程を編成・実施し、授業目標への到達度で成績評価を行うとともに、セメスター毎の評価を学修ポートフォリオに蓄積することにより、学生が学びの履歴を確認できる機会を提供します。

- 1 大学での学びの入り口として、深い教養を身に付ける必要感や目指す職業人の魅力や社会的意義を認識し、主体的な問題発見及び問題解決能力を育成するための基礎教養科目
 - 1-1 多様な学修歴を有する入学者に対応できるように、大学生活や社会に出る準備段階としての学修意欲を高め、学習規律を身に付ける【初年次演習】や【キャリアデザイン科目】を設定します。
 - 1-2 学校現場で求められている「課題を発見する力」「情報を読み取る力」「複眼的に物事を捉える力」「他者と協働する力」「解決に導く力」等の主体的な問題発見及び問題解決能力や能動的な学修活動能力を育成する【課題探究科目】を設定します。
- 2 教職及び教育を支える専門職に必要な資質・能力の基礎を育成するための教育実践教養科目
 - 2-1 教育実践を支える職業人の役割について考えるとともに、新しい持続可能な社会に向けた、ユニバーサルデザインの学校教育の基盤について、多面的に捉えて理解する【教職教養科目】を設定します。
 - 2-2 学校現場で対応の要望が高まる外国人児童生徒支援教育、学校安全等を題材に、新しい教育の機会均等やマネジメントの在り方について探る【現代的教育課題対応科目】を設定します。
 - 2-3 子どもの生活実態を知り、子どもとのコミュニケーション能力を養い、感性を磨くなど、教育実践を支えるための実践力を高めることを目的に、附属学校や国内外の連携協力校、地域社会等の協力を得て実施する【実践力育成科目】を設定します。
- 3 各課程において教職又は教育支援専門職としてのキャリアの形成及びその専門性を高めるための専修科目
 - 3-1 学校教員養成課程では、教職の基礎となる理論や指導実践に関わる知識と経験を修得する教職課程対応科目群からなる【専攻基礎科目】と、専門領域の精深な知識を修得して教職に求められる学識と能力を培う【専攻科目】を設定します。
 - 3-2 教育支援専門職養成課程では、学校教育とそれを支える分野の基礎的な理論と実践に関わる知識と経験を修得する【教育学基礎科目】【教育支援科目】と、専門領域の精深な知識を修得して各専門職に求められる学識と能力を培う【専攻科目】を設定します。
 - 3-3 各課程の専攻基礎科目、教育学基礎科目、教育支援科目及び専攻科目で修得・形成した知識、経験、学識、能力を統合・発展させ、課程、専攻、専修、コース等の専門分野を超えた学び合いを通して、自律的に専門性を高める【未来共創科目】を設定します。

- 4 大学での学びと実践を結び付ける、往還的学修のための実習科目
 - 4-1 学校教員養成課程では、3年次以降に実践的な模擬指導演習や学校現場での教育実習で、身に付けた専門性を試行して学修の到達を振り返る場として【教育実践開発科目】を設定します。
 - 4-2 教育支援専門職養成課程では、支援の実践を学び、知識と技術を統合する場として【心理実習】【社会福祉実習】【学校・自治体インターンシップ】等を設定します。
- 5 大学での学びの集大成としての卒業研究
 - 5-1 専門分野に関わり、自ら研究テーマを設定し、文献調査、実地調査、質問紙調査、実験、制作などを通して学術的に探究し、まとめ、発表する【卒業研究】を設定します。

入学者受入れの方針【アドミッション・ポリシー】

愛知教育大学は、広域の拠点的作用を果たす教育大学として、人間理解と真理探究に努め、教育が直面する現代的課題への対応力を有し、子どもたちの未来を拓くことができる豊かな人間性と確かな実践力を身に付けた専門職業人の養成を使命としています。

学校教員養成課程では、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員として活躍できる専門的な知識・技能を有し、教育諸課題に適切に対応できる教員の養成を目的としています。

教育支援専門職養成課程では、心理・社会福祉・教育行政等の専門的な知識・技能を有し、教育活動と子どもたちを支援することができる専門職の養成を目的としています。

そこで、次のような人を求めています。

- 1 子どもの成長に関わることに喜びを感じ、将来、教員や専門職として学校教育に携わる強い意欲を持つ人
- 2 確かな基礎学力を有し、関連する幅広い分野の学びに関心を持つ人
- 3 創造力や探究心を持つ人
- 4 多様な考えや価値観を持つ人を認め、自らの考えを表現しながら協働できる人
- 5 学校と地域社会との関わりに関心があり、地域の活動に参加することができる人

（入学者選抜の基本方針）

大学入学共通テストを課さない総合型選抜と大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜及び一般選抜（前期日程、後期日程）により、将来、教職又は教育支援専門職を目指すために本学での教育を望むものとして必要な知識・技能、資質・能力のほか、教職への意欲等を学力の3要素等から多面的・総合的に評価して、多様な入学者を選抜します。

これらの各選抜と学力の3要素等との対応は、別表（入学者選抜方法と「学力の3要素等」の対応表）のようになります。

【総合型選抜】

〈一般受験者対象〉

総合型選抜では、本学で試験当日に実施する「高大連携講座」を受講した後の課題（以後、高大連携講座受講後の課題と記す。100点満点）、AP試験（200点満点）と本人記載資料及び調査書（100点満点）の合計点（400点満点）により評価します。

なお、高大連携講座受講後の課題、本人記載資料及び調査書は、AP試験においても資料として用います。

◎知識・技能

学校教員として求められる基本的な資質・能力と実践的指導力の習得に必要な確かな基礎学力を有しているかを、高大連携講座受講後の課題、AP試験、「学びの履歴」及び調査書で評価します。

◎思考力・判断力・表現力

問題を発見し解決するために求められる思考力・判断力・表現力の基礎が育まれているかを、高大連携講座受講後の課題、AP試験、調査書で評価します。

◎意欲・関心・態度

学校教員として学校教育に携わる意欲のほか、子どもへの愛情と子どもの成長への関心と情熱、創造力・探究心をAP試験、「志望理由及び学びの計画」、「学びの履歴」で評価します。

◎主体性・協働性

主体性と協働性をAP試験、「学びの履歴」、調査書で評価します。

本学への入学前に学習しておくことが期待される内容

本学では、学校教員や教育支援専門職の養成にあたり幅広い教養と基礎学力等を身に付けていることを求めています。そのため、本学に入学するまでに学習しておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- ① 高等学校段階までの教育課程における基礎的・基本的な知識・技能と思考力
- ② 自らが専攻しようとする教科等に関わる基本的内容
- ③ 上記①②を通して、多面的・多角的なものごとをとらえ、論理的に思考・判断できるように幅広く学びを深め、探究する態度

なお、将来、学校教育に教員又は教育支援専門職として携わることを望む者として、高等学校段階での教育課程による学びだけでなく、自ら子どもとの交流経験を求めたり、学校教育及び教育に関わる諸問題への関心を深めたりするための主体的な学びや活動を通して、多様な価値観や考えを持つ人々とコミュニケーションする力や、自らの考えを深めてそれを表現する力を身に付けておくことを望みます。

入学者選抜方法と「学力の3要素等」の対応表

○：各入学者選抜において重点的に評価します。

入試区分	入学者選抜方法	「学力の3要素等」			
		知 識 技 能	思 考 力 判 断 力 表 現 力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ姿勢	教職又は 教育支援専門職に 就こうとする意欲
（一般受験者対象） 総合型選抜	講座受講後の課題 ※1	○	○		
	AP試験 ※2	○	○	○	○
	志望理由及び学びの計画				○
	学びの履歴	○		○	○
	調 査 書	○	○	○	

※1 総合型選抜の「講座受講後の課題」：高大連携講座の内容に関わる課題を成果物として提出するものです。

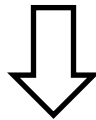
※2 AP 試験：「アドミッション・ポリシーに基づく試験」のことで、本学が望む学生像に必要な学力を面接のなかで測るものです。（討論、実技、筆記等を含むことがあります。）

令和9年度 総合型選抜（一般受験者対象）

入学者選抜日程の概要

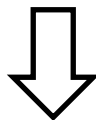
出願サイトでの出願登録期間

令和8年8月25日（火）～9月6日（日）



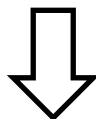
出 願 期 間

令和8年9月1日（火）～7日（月）



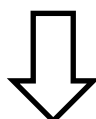
試 験 期 日

令和8年10月3日（土）



合 格 発 表

令和8年11月2日（月）



入 学 手 続

～令和8年12月4日（金）

1. 趣旨

総合型選抜の目的は、本学のアドミッション・ポリシーに基づき、知識偏重ではなく高等学校における諸活動の実績等を多面的・総合的に評価して、本学での学びへの関心・意欲の高い者を選抜することを目的とする。

2. 募集人員

課 程 ・ 専 攻 ・ 専 修				募 集 人 員
学 校 教 員 養 成 課 程	幼 児 教 育 専 攻			2 名
	義 務 教 育 専 攻	学 校 教 育 科 学 専 修		2 名
		生 活 ・ 総 合 専 修		2 名
		I C T 活 用 支 援 専 修		2 名
		日 本 語 支 援 専 修		2 名
		教 科 指 導 系	国 語 専 修	2 名
			社 会 専 修	3 名
			算 数 ・ 数 学 専 修	2 名
			理 科 専 修	2 名
			音 楽 専 修	6 名
			図画工作・美術専修	4 名
			保 健 体 育 専 修	9 名
			ものづくり・技術専修	4 名
			家 庭 専 修	2 名
			英 語 専 修	2 名
		特 別 支 援 教 育 専 攻		3 名
		養 護 教 育 専 攻		2 名

(注) 本学においては、総合型選抜と学校推薦型選抜の両方に出願することが可能です。

(ただし、総合型選抜の合格者は除く。)

3. 各課程・専攻・専修が望む学生像

アドミッション・ポリシーをふまえ、各課程・専攻・専修では、次のような学生の入学を望みます。

学校教員養成課程	幼児教育専攻		乳幼児を取り巻く諸問題に興味・関心があり、幼児教育・保育に関する専門的知識に関心をもつとともに、子どもに共感し、環境を通した遊びを中心とした保育を構想し、柔軟に展開できる資質・能力として、特に、子ども理解にもとづくコミュニケーション能力や問題解決力、協働や創造の力などを身につけることに意欲的な者を望みます。	
	義務教育専攻	学校教育科学専修	実践的指導力を有する教員の養成を目的に、教育学、キャリア教育学や教育心理学などの教育諸科学に関する専門的知識に関心をもつとともに、「ものごとを多角的に理解し、多様性を尊重する力」「他者と協働し、課題に取り組む力」「答えのない課題に対しても、情報を収集しながら意欲的に取り組む力」を有する者を望みます。	
		生活・総合専修	児童・生徒の興味・関心に目を向け、それらを教材として組み立てるために必要な子ども理解の視点や専門的知識に関心をもつとともに、体験から生まれる学びを価値づけたり、地域の題材から課題を設定し解決をしていく探究のプロセスの構想、そこにもとづく指導計画を立案したりすることに意欲的な者を望みます。	
		ICT活用支援専修	ICTやICTを活用した教育に興味関心があり、物事を論理的に考えることができ、ICTを使って問題を解決したり物事を効率的に進めることに意欲をもつとともに、将来、情報モラル育成のための専門的知識やICTを積極的にかつ有効的に教育に活用できる技術を身につけたいと考えており、卒業後は、学校でICTの活用やプログラミングを教えたり、学校全体の情報化に中心的に貢献することを希望している者を望みます。	
		日本語支援専修	日本語支援専修は、日本語教育を学ぶだけでなく、日本の義務教育（小中学校）の教員としての専門的な知識・技能を習得することが目的です。言語文化背景が異なる子どもたちをめぐる諸問題に関心があり、その子どもたちを支援するために必要な専門的知識を積極的に得ようとするとともに、特に、子どもの多様性を認める力や問題解決力、協働の力などを身につけることに意欲的な者を望みます。	
		教科指導系	国語専修	国語科や国語科を核とした関連諸分野、および言語やリテラシーなどに興味関心があり、それらを教えるために求められる専門的知識に関心をもつとともに、特に、ものごとを読み解く力、論理的な思考力や創造力などを身につけ、将来教育現場において、それを生かしていくことに意欲的な者を望みます。
			社会専修	社会科や社会科を核とした関連諸分野に興味関心があり、それらを教えるために求められる専門的知識に関心を持ち、特に、社会的な諸事象を読み解く力、知識と知識を結びつけて新たな知を導き出す力、論理的な思考力や判断力、創造力や探究心を育むことに意欲的であり、かつ多様な価値観を認めて対話や協働を行うことができ、教員として学校教育に携わる強い意欲をもつ者を望みます。
			算数・数学専修	算数・数学科およびその関連諸学科とそれらの学習を通した児童生徒の知的成長に興味関心がある者を望みます。また、それらの教育に必要な専門的知識に関心を持ち、高等学校「数学Ⅲ」の素養を前提として、数量的スキルや数学的な考え方・表現力等を身につけることに意欲的な者を望みます。算数・数学をよりわかりやすく教えたり、そのおもしろさや有用性を伝えられる教員をめざして、努力しようと志す者を望みます。
			理科専修	児童の身のまわりのものや現象に興味関心があり、それらを教材として組み立てるために必要な専門的知識に関心をもつとともに、特に、自然科学に関する客観的思考力や分析的思考力、合理的なものごとを説明する力などを身につけることに意欲的な者を望みます。また、自然への敬愛や科学技術の素晴らしさを具体的に分かりやすく教えたり、その意義や有用性を伝えたりできる教員をめざして、努力しようと志している者を望みます。

学校教員養成課程	義務教育専攻	教科指導系	音楽専修	児童生徒をとりまく音や音楽，および音楽表現に興味関心をもち，本学入学以前には，基礎的な音楽技能を身につけ，さらに教科書に記載された基礎的な音楽理論や音楽史に関する事項を学習しておくことを期待します。入学後は，音楽に関する創造力と構成力，答えのない問題に解を見出していく力，および音楽表現に必要な技能などを身につけたいと考える者で，将来，教育現場においてそれらを生かしていこうとする強い意志をもつ者を望みます。
			図画工作・美術専修	美術鑑賞や制作活動などに興味関心をもち，本学入学以前に観察力や基礎的な描写力などを十分にもっていることを期待します。入学後は，美術に関する創造力と構想力，表現に必要な技能などを身につけることに意欲的で，図画工作・美術教育を通して感性や想像力を育み，生活や社会の中の美術や文化と豊かに関わる子どもの育成に意欲のある者を望みます。
			保健体育専修	スポーツに親しみをもち，スポーツ実践を介した豊かな経験を有し，かつ健康に関する内容に興味関心がある者を望みます。また，人と広く交流し，コミュニケーションをとることができる資質や能力を有し，子どもに愛情をもって寄り添い，支え続け，子どもの成長にかかわる教員になろうとする強い意欲をもって，保健体育に関する学びを深め，探究しようとする者を望みます。
			ものづくり・技術専修	ものづくりが好きで，科学技術や技術教育に関わる諸問題などに興味関心をもち，科学技術に関する高校までの基礎的な数理的知識をもって受験することを期待します。入学後は，幅広い工学（木工・金工・電気・機械・情報）および農学の知識と技能を身につけて，将来教育現場において，これらの能力を生かそうとする者を望みます。
			家庭専修	生活に関わる諸問題などに興味関心があり，それらを教材として組み立てるために必要な専門的知識に関心をもつとともに，特に，人間の生活とその教育について深く洞察する力，客観的思考力や分析的思考力，合理的なものごとを説明する力などを身につけ，将来教員としてそれらを生かしていこうとする強い意志と意欲をもつ者を望みます。
			英語専修	英語科や英語科を核とした関連諸分野とそれらの学習を通じた児童生徒の知的成長に興味関心があり，学校現場での教育に携わるために求められる専門的および実践的知識に関心をもつとともに，特に，論理的な思考力，想像力や英語でのコミュニケーション能力などを身につけることに意欲的な者を望みます。
	特別支援教育専攻		視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱・発達障害など，さまざまな障害のある子どもの教育について幅広い専門性をもち，実践的指導力を身につけた教員をめざす者を望みます。そのために，障害のある子どもの実態を客観的にとらえ，積極的に働きかける力があり，他の教員たちと協働しながら，特別支援教育の諸課題に対して問題意識を高め，みずから考え工夫し解決していく強い意志と意欲をもつ者を望みます。	
	養護教育専攻		学校の保健管理や保健教育，子どものからだところの健康問題に興味関心があり，それらの教育に携わるために求められる専門的知識に関心をもつ者を望みます。特に，専門科目を学ぶために必要な理数系科目を深く洞察する科学的探究心を育み，分析的思考力やコミュニケーション能力などを身につけることに意欲的な者を望みます。	

4. 出願資格

総合型選抜に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当し、次頁の「5. 出願要件」を満たす者とします。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者等、通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）及び令和9年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校又は中等教育学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者

これらの者は、次のとおりです。

- ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者
- ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者
- エ 文部科学大臣の指定した者
- オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格認定に合格した者を含む。）及び令和9年3月31日までに合格見込みの者で、令和9年3月31日までに18歳に達する者
- カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年3月31日までに18歳に達する者

〔注〕上記出願資格(3)の力により出願する者は、次のとおり申請してください。

(ア) 申請期間

令和8年8月18日（火） から 8月20日（木） 17時までに入試課に必着

(イ) 申請方法

1) 申請書類

- a 入学資格（受験資格）の審査申請書
- b 教育施設の卒業証明書又は卒業見込み証明書（中途退学者は除く。）
- c 高等学校の在学期間におけるすべての成績証明書（中途退学者のみ）
- d 実務経験の期間及び内容を証明できる書類
- e 取得済みの免許状・資格等の写（申請時は、本通の提示を求める。）
- f 教育施設の教育課程がわかる書類（学校案内及び履修手引等）
- g 科目等履修生の在学（在籍）証明書及び単位取得証明書

2) 申請書類提出先

申請者は、「(イ) 1) 申請書類」一式に加え、460円分の切手を貼った返信用封筒（長形3号）に受信者の郵便番号、住所、氏名を明記したものを同封の上、申請期間の締切日までに持参又は郵送にて提出してください。郵送の場合は「簡易書留郵便」にて、下記あて名を明記した封筒の表に「入学資格審査申請書類在中」と朱書きし、提出してください。

なお、提出された書類は、一切返却しません。

（あて名）〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1 愛知教育大学入試課

(ウ) 審査の結果

審査結果は、出願開始までに通知します。

(エ) その他

入学資格（受験資格）認定申請書及び申請方法等について不明な点がある場合は本学入試課（0566-26-2202）に問い合わせてください。

5. 出願要件

- (1) 保健体育専修を志願する者は、高等学校在籍中に次の種目において全国大会以上の試合に選手として出場し、かつ競技した者であること。

種目：体操競技、新体操、陸上競技、水泳（競泳）、バスケットボール、ハンドボール、サッカー、ラグビー、バレーボール、卓球、テニス・ソフトテニス、バドミントン、ソフトボール、柔道、剣道、相撲、ダンス

出願書類の“学びの履歴”（10 ページの表中の 4 参照）に出場した大会の正式な名称を記入してください。
また、チーム競技の場合は、添付資料がメンバー表だけでは選手として出場し、かつ競技したとは認められません。
名前が記載されているスコア表等、実際に出場し、かつ競技したことが分かる資料を添付してください。
不明な点等がある場合は出願前に入試課へお問い合わせください。

- (2) 合格した場合、必ず入学することを確約できる者

6. 出願期間

令和 8 年 9 月 1 日（火） から 9 月 7 日（月）17 時まで

出願書類の提出は郵送（簡易書留速達）に限ります。9 月 7 日（月）17 時までに本学入試課に必着となるよう送付すること。出願期間を過ぎた場合には受理しませんので、郵便事情を考慮し、早めに郵送してください。ただし、9 月 4 日（金）以前の郵便局受付印がある「簡易書留速達」に限り、出願期間後に到着したものでも受理します。

7. 出願書類等

下記の(1)～(3)の書類を出願期間内に提出してください。受理した出願書類は返還しません。

- (1) 出願サイトから印刷し、提出するもの

提出書類等		記入者	摘 要
1	入学志願票	志願者	出願内容等に間違いがないか確認し、出願サイト登録後にカラー印刷してください。 (注) 出願前 3 か月以内に撮影した正面、上半身、無帽、背景なしの顔写真データを用意し、出願サイトからアップロードしてください。
2	宛名シート 及び 出願書類 チェックリスト	志願者	出願封筒（角形 2 号）用に貼り付ける宛名シート及び出願書類チェックリストを出願サイトからカラー印刷し、封筒に貼り付けてください。

- (2) 所属する高等学校及び志願者が準備するもの

本学所定の様式で作成する書類（調査書は除く。）

本学入試情報サイト(<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/faculty/info/index.html>) からダウンロードした所定の様式に **3** 及び **4** は志願者本人が、**5** は学校長が記入し、本人が提出。

提出書類等		記入者	摘 要
3	志望理由 及び 学びの計画	志願者	(本学所定様式) 本学への入学を希望する理由、本学に入学して何を学びたいか、何が学べるかを期待しているのか、「4 学びの履歴」の記載内容とどのように関わっているのか、記入してください。 (注) 生成系 AI (ChatGPT 等) が生成した文章をそのまま又は一部修正して提出することは不正行為となります。志望理由については、皆さん自身の考えで作成してください。
4	学びの履歴	志願者	(本学所定様式) これまでに経験した教育に関わる活動、志願する専攻、専修にかかわる諸活動等、受賞歴、各種資格や検定等について記入してください。なお、資料は A4 判のファイル一冊に綴じること。(作成方法については、本学入試情報サイト (https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/entrance/ao.html) 「(参考) 学びの履歴の提出方法について」をご確認ください。)
5	調査書	学校長	(文部科学省所定様式) 学校長職印、記載責任者の印を押し、厳封されたものを提出してください。

(3) 該当者のみが提出する書類

所定の様式で作成する書類。

6 及び 7 は本学入試情報サイト (<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/faculty/info/index.html>) からダウンロードした様式に志願者本人が記入し、提出。

8 は文部科学省、各学校から、**9** は各高等専門学校から入手し、提出。

	該当者	書類	記入者	摘 要
6	調査書を提出できない者	活動報告書	志願者	(本学所定様式) 中学校以降の生活において、どのような学習や活動を行ってきたかを記入してください。
7	音楽専修を志願する者	実技内容届	志願者	(本学所定様式) 受講したいレッスンを記入してください。
8	高等学校卒業程度認定試験に合格した者	成績証明書 (認定試験) ※	文部 科学省	(文部科学省所定様式) 厳封されたものを提出してください。
	高等学校卒業程度認定試験に合格し、試験で受験を免除された科目がある者	単位修得証明書	学校長	(文部科学省所定様式) 受験科目免除申請に提出した証明書を入手し、厳封されたものを提出してください。
		成績証明書 (高等学校) ※		(各学校所定様式) 在籍時の成績証明書を入手し、厳封されたものを提出してください。なお、入手できない者は在籍期間を証明する書類を代わりに提出して下さい。
9	高等専門学校の3年次を修了及び修了見込みの者	成績証明書	学校長	(各高等専門学校所定様式) 3年次までの成績(見込みを含む)を証明するものを入手し、厳封されたものを提出してください。

※成績証明書は、認定試験合格時のものと、高等学校等在籍時のものの2種類があります。高等学校卒業程度認定試験で受験を免除された科目がある者はその両方を提出してください。

8. 出願手続

本学はインターネット出願システム Post@net（ポスタネット）を利用しています。

出願手続は出願登録期間に①出願登録、②検定料の支払い、③出願書類を郵送し、本学に到着することによって完了します。（①②③のいずれかが行われなかった場合は、出願が受け付けられません。）

【インターネット出願登録及び入学検定料支払期間】は以下のとおりです。（出願受付期間前から出願情報の登録及び検定料の支払いは可能です。）

【インターネット出願登録期間】	令和8年8月25日（火）9時 から 9月6日（日）17時00分まで
【入学検定料支払い期間】	令和8年8月25日（火）9時 から 9月6日（日）23時59分まで

出願の流れ

1. 事前準備

学生募集要項を確認し、調査書、証明写真データ等の必要書類を準備してください。

2. アカウント作成

インターネット出願登録には Post@net でのアカウント登録が必要です。

画面の手順に従い、必要事項を入力して登録を行います。Post@net へのリンクは、インターネット出願登録期間中、本学入試情報サイト（<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/faculty/info/>）に掲載します。

3. インターネット出願登録

トップページの「学校一覧」から「愛知教育大学」を検索してください。

「【初回】出願」ボタンをクリック後、手順や留意事項を確認し、画面に従って必要事項を入力してください。

4. 検定料の支払い

検定料の支払い方法を選択し、支払い期限までに入学検定料 17,000 円（別途、支払手数料がかかります。）を支払います。

入学検定料の支払いは下記のいずれかの方法で行ってください。

①クレジットカード ②コンビニエンスストア ③金融機関 ATM（ペイジー）

支払い方法の選択後に表示された支払い情報は、支払いの際に必要な番号です。必ず画面を印刷、またはメモしてください。なお、検定料の支払い後は、登録内容の変更はできませんので、注意してください。

5. 入学志願票と宛名シートの印刷

検定料の支払い後に届く「インターネット出願 支払完了」のメールに記載の URL、または出願サイト内「出願内容一覧」の「出願内容の確認」から、入学志願票と宛名シート及びチェックリストがダウンロードできるようになります。

6. 必要書類の郵送

宛名シート及びチェックリストをカラー印刷してください。出願書類が全て揃っているか、チェックリストにて確認してください。市販の角形2号封筒の表面に宛名シート、裏面にチェックリストを貼り付けてください。必要書類一式を封入し、簡易書留速達で郵送してください。出願書類等の提出は郵送に限ります。

「出願内容一覧」で確認できる証明写真に「承認待ち」と表示される場合があります。出願書類の送付にあたり、証明写真の「承認」をお待ちいただく必要はありません。準備が整い次第、出願書類を郵送してください。

■インターネット出願に関する問い合わせ先（開設期間：インターネット出願登録期間中の平日 9：00～17：00）

出願サポート窓口 TEL 075-341-8670

■入学試験に関する問い合わせ

愛知教育大学入試課学部入試係 TEL 0566-26-2202

出願にあたっての留意事項

- (1) 出願書類に虚偽の記入をした者に対しては、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (2) 出願に必要な書類のうち、一つでも不備がある場合は受理できませんので、郵送する前に、もう一度すべての書類がそろっているか確認してください。
- (3) 検定料の支払い後は、志望内容の変更には一切応じません。

また、払い込まれた検定料は次の場合を除き返還しません。

- ① 出願書類を提出しなかった場合(返還額：振込手数料を差引いた額)
- ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合(返還額：振込手数料を差引いた額)
- ③ 出願書類等に不備があり、受理されなかった場合(返還額：振込手数料を差引いた額)

* 検定料の返還請求方法

志願者の申し出により返還しますので、次の(ア)、(イ)の書類を郵送してください。

(令和8年10月9日(金)まで)

(ア) **入学検定料の支払いを証明する書類(領収書等)**

(イ) **「入学検定料返還請求書」(便せん等に次の1～7を明記してください。)**

- 1 返還請求の理由
- 2 試験区分(総合型(一般受験者対象))
- 3 氏名(フリガナ)
- 4 現住所
- 5 連絡先電話番号
- 6 返還請求額(17,000円)
- 7 返還金振込先
 - 1)金融機関名(可能な限り、郵便局・ゆうちょ銀行以外の金融機関)
 - 2)支店名
 - 3)預金種別(当座・普通)
 - 4)口座番号
 - 5)口座名義人(フリガナ)
 - 6)口座名義人が志願者と異なる場合は、志願者との続柄

【郵送先】 〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1 愛知教育大学入試課 TEL0566-26-2202

返還時期は、令和9年1月末(請求時期により異なります。)までを予定しております。

また、大規模な災害により災害救助法適用地域において被災又は避難されている学資負担者又は志願者は、入学検定料が免除になることがありますので、入学検定料を支払う前の出願開始日1週間前までに本学入試情報サイト「入学検定料の免除について」(<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/student-life/support.html>)を確認の上、申請してください。

9. 受験票及び受験案内のダウンロード、印刷

受験票及び受験案内は、令和8年9月28日(月)頃からダウンロード及び印刷が可能となります。出願サイトから受験票をダウンロード及びカラー印刷し、試験当日に持参してください。

また、受験案内は受験票に記載の二次元コードまたはURLより確認できます。受験案内には受験上の注意事項(集合時間や場所等)が記載されていますので、ダウンロード及びカラー印刷し、試験当日に持参してください。

10. 入学者選抜方法

- (1) 選抜は、志望理由及び学びの計画、学びの履歴及び調査書による書類、高大連携講座を受講した後の課題と、A P 試験によって行います。
- (2) 最低基準点は、総点の2分の1とし、これに満たない場合は不合格とします。各選考の配点は次の表のとおりです。
- (3) (2)で不合格となった者を除き、専攻・専修毎に、点数の高得点順位の者から合格者とします。
- (4) (2)のとおり最低基準点を定めていることから、合格者数が募集人員を下回ることがあります。

総合型選抜（一般受験者対象）配点

課 程 ・ 専 攻 ・ 専 修			配 点					
			志望理由 及び 学びの計画	学びの履歴 及び調査書	講座受講後 の課題	A P 試験	計	
学 校 教 員 養 成 課 程	幼 児 教 育 専 攻		40	60	100	200	400	
	義 務 教 育 専 攻 系	学校教育科学専修	40	60	100	200	400	
		生活・総合専修	40	60	100	200	400	
		I C T活用支援専修	40	60	100	200	400	
		日 本 語 支 援 専 修	40	60	100	200	400	
		教 科 指 導 系	国 語 専 修	40	60	100	200	400
			社 会 専 修	40	60	100	200	400
			算数・数学専修	40	60	100	200	400
			理 科 専 修	40	60	100	200	400
			音 楽 専 修	40	60	100	200	400
			図画工作・美術専修	40	60	100	200	400
			保 健 体 育 専 修	40	60	100	200	400
			ものづくり・技術専修	40	60	100	200	400
			家 庭 専 修	40	60	100	200	400
			英 語 専 修	40	60	100	200	400
		特 別 支 援 教 育 専 攻		40	60	100	200	400
養 護 教 育 専 攻		40	60	100	200	400		

- (5) 試験日程は次のとおりとし、前記(1)のとおり行います。

試 験 期 日	令和8年10月3日（土）
試 験 場	愛知教育大学

※試験の実施場所・試験時間割等については、受験案内により別途通知します。

- (6) 高大連携講座と受講後の課題及びAP試験の内容は次頁の表のとおりです。

高大連携講座及び受講後の課題の内容

課 程 ・ 専 攻 ・ 専 修			高 大 連 携 講 座 及 び 受 講 後 の 課 題	
学 校 教 員 養 成 課 程	幼 児 教 育 専 攻		講義（60 分程度）を受講し、講義内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）を課します。	
	義 務 教 育 専 攻	学 校 教 育 科 学 専 修	講義（90 分程度）を受講し、講義内容を題材とした課題について論述（筆記）を課します。	
		生 活 ・ 総 合 専 修	講義（45 分程度）を受講し、講義内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）を課します。	
		ICT 活用支援専修	講義（90 分程度）を受講し、講義中や講義後に、実技試験や論述（筆記）を課します。	
		日 本 語 支 援 専 修	講義（45 分程度）を受講し、講義内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）を課します。	
		教 科 指 導 系	国 語 専 修	講義（60 分程度）を受講し、講義内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）を課します。
			社 会 専 修	講義（60 分程度）を受講し、講義内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）を課します。
			算 数 ・ 数 学 専 修	講義（60 分程度）を受講し、講義内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）を課します。
			理 科 専 修	講義（45 分程度）を受講し、講義内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）を課します。
			音 楽 専 修	ピアノ・声楽のどちらかを選んでレッスンを受講し、さらに音楽理論の講座（読譜及び鍵盤楽器の基礎技能を含む）を受講した上で、そこで指摘された問題点や改善を要する点などを自ら見出しながら、今後に向けた課題を記述してもらいます。
			図画工作・美術専修	講義（45 分程度）を受講したうえで、講義と関連して鉛筆デッサン（90 分）を課します。
			保 健 体 育 専 修	講義（30 分程度）を受講し、講義内容を題材とした課題について論述（筆記）を課します。
			ものづくり・技術専修	講義（45 分程度）を受講し、講義内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）を課します。
	家 庭 専 修	講義（45 分程度）を受講し、講義内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）を課します。		
英 語 専 修	実際のコミュニケーション活動を含む講義（60 分程度）を受講し、講義内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）を課します。			
特 別 支 援 教 育 専 攻		講義（90 分程度）を受講し、講義内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）を課します。		
養 護 教 育 専 攻		講義（45 分程度）を受講し、講義内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）を課します。		

A P 試験の内容

課 程 ・ 専 攻 ・ 専 修				A P 試 験		
学 校 教 員 養 成 課 程	幼 児 教 育 専 攻			複数の教員による集団面接を行います。個々の理解力，思考力，判断力，コミュニケーション能力，自己表現力をみるとともに，幼稚園教諭や保育士への意欲・適性などを総合的に判断します。		
	義 務 教 育 専 攻	学 校 教 育 科 学 専 修		複数の教員による集団討論・集団面接を行います。教育の基本的事項に関する理解力，多様なものの見方，コミュニケーション能力，積極的に挑戦する態度をみるとともに，教職への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。		
		生 活 ・ 総 合 専 修		複数の教員による集団面接を行います。個々の理解力，思考力，判断力，コミュニケーション能力，自己表現力をみるとともに，教職への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。		
		I C T 活 用 支 援 専 修		複数の教員による個別面接を行います。思考力，判断力，コミュニケーション能力，自己表現力をみるとともに，教職への志望の意欲・適性，ICTやICTを活用した教育への興味・関心などを総合的に判断します。		
		日 本 語 支 援 専 修		複数の教員による個別面接により，日本語教育に関する興味・関心をみるとともに，教職への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。		
		教 科 指 導 系	国 語 専 修		複数の教員による集団面接を行います。個々の理解力，思考力，判断力，コミュニケーション能力，自己表現力をみるとともに，教職への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。	
			社 会 専 修		複数の教員による集団面接を行います。社会科に関する興味・関心，物事を客観的に読み解く力，知識と知識を結びつける力，自分の言葉で表現する力をみるとともに，教職への志望の意欲・適性を総合的に判断します。	
			算 数 ・ 数 学 専 修		複数の教員による個別もしくは集団面接を行います。数学の内容，および算数・数学の教え方に関する質問を行い，理解度・思考力・説明する力をみるとともに，受け答えを通じて教職への志望の意欲・適性を総合的に判断します。	

学 校 教 員 養 成 課 程	義 務 教 育 専 攻	教 科 指 導 系	理 科 専 修	複数の教員による個別もしくは集団面接を行います。 個々の理解力，思考力，判断力，コミュニケーション能力，自己表現力をみるとともに，教職への志望の意欲・適性を総合的に判断します。
			音 楽 専 修	複数の教員による面接を行います。個々の理解力，判断力，自己の意見や考えを表現するコミュニケーション能力をみるとともに，将来教育現場においてそれらを生かしていこうとする強い意志や教員としての適性などを総合的に判断します。
			図画工作・美術専修	複数の教員による面接を行います。個々の理解力，思考力，判断力，コミュニケーション能力，自己表現力をみるとともに，図画工作を得意とする教員，もしくは美術教員への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。
			保 健 体 育 専 修	複数の教員による面接を行います。コミュニケーション能力等をみるとともに，教職への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。
			ものづくり・技術専修	複数の教員による個別面接を行います。将来，教職に就く強い意欲と，科学技術への興味・関心と共に，様々な課題解決のために創意工夫する豊かな感性等を総合的に判断します。
			家 庭 専 修	複数の教員による個別もしくは集団面接を行います。生活の諸問題に対する興味，関心をみるとともに，教職への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。
			英 語 専 修	複数の教員による個別もしくは集団面接を行います。英語の教科に関する知識・関心・技能を問うとともに，教職への意欲・適性などを総合的に判断します。
	特 別 支 援 教 育 専 攻			複数の教員による個別面接を行います。特別支援教育に関する諸課題への問題意識と，思考力・判断力・コミュニケーション能力・自己表現力等をみるとともに，教職への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。
	養 護 教 育 専 攻			複数の教員による集団面接を行います。健康に関する領域の理解力，思考力，判断力，コミュニケーション能力，自己表現力をみるとともに，養護教諭への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。

※受験者数によっては，面接方法を変更することがあります。

11. 障害のある入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする志願者もしくは不安を感じる志願者は、相談締切日までに必ず本学と相談してください。必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行います。

相談内容によっては、対応に時間を要することもありますので出願前の早い時期に申し出てください。なお、この事前相談の内容が合否判定に影響することはありません。

(1) 相談締切日 令和8年8月18日（火）

(2) 相談申込み方法

「入学試験受験上の配慮申請書」により申込みしてください。

（本学指定様式によるものとします。様式については、下記問い合わせ先に連絡の上、請求してください。）

(3) 提出書類

ア 入学試験受験上の配慮申請書（本学指定様式）

イ 医師の診断書（コピー可）

(4) 問い合わせ先

愛知教育大学入試課 TEL 0566-26-2202

12. 免許教科の決定について

・免許教科について

義務教育専攻学校教育科学専修，生活・総合専修，ICT活用支援専修，日本語支援専修及び特別支援教育専攻においては、1つの教科の中学校教員免許状（二種もしくは一種）を取得することができます。この教科を「免許教科」と呼び、入学前に希望教科を選択していただく必要があります。

なお、免許教科は、入学手続き時に行う意向調査に基づき、大学が決定します。できる限り希望に添うように各教科への割り振りを行います。特定の教科に希望が集中することなどにより、必ずしも第1希望の教科を履修できない場合も考えられることをご承知おきください。

また、免許教科の決定後は、いかなる理由があっても、変更は一切認められません。

決定した免許教科の専門教育科目の授業では、当該教科について知識や技能の高い該当専修の学生とともに学ぶことになることから、入学手続き時の意向調査の際には、各免許教科に関する学修に当たっての要望やアドバイスを提示しますので、慎重に免許教科を選択することを求めます。

以下の本学 Web サイトにおいて、「免許教科選択に当たっての留意点」を掲載していますので、併せて確認してください。

愛知教育大学 Web サイト HOME > 学部・大学院 > 免許教科

https://www.aichi-edu.ac.jp/edu/gakubu/license_subject.html

免許教科 専攻・専修		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術	家庭	英語
義務教育 専攻	学校教育科学専修	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○
	生活・総合専修	○	○※	○	○※	○	○	○	○※	○※	○
	ICT活用支援専修	○	○	○※	○※	○	○	○	○※	○	○
	日本語支援専修	○									○
特別支援教育専攻		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※専修として選択を薦める教科

13. 合格者発表

- (1) 令和8年11月2日(月)10:00以降、出願サイトから合否結果の照会ができます。
出願サイトにログイン後、「出願内容一覧」から、「出願内容を確認」を選択し、「合否結果照会」で確認してください。また、合格者は、出願サイトから合格通知書や必要な書類のダウンロードができます。
- (2) 電話等による合否の照会には一切応じません。

14. 入学手続

入学手続の詳細は、合格者に案内する「入学手続要項」をご覧ください。

- (1) 入学手続締切日

令和8年12月4日(金) 16:00まで

入学手続期間内に入学手続を完了していない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。

- (2) 入学料等納入金

入 学 料	282,000 円
入学時諸費用 ※1	54,660 円
前期分授業料	267,900 円
後期分授業料	267,900 円

入学料及び入学時諸費用については、入学手続時に必ず納入していただきます。また、授業料の納入については、4月以降に行っていただきますので、その納入方法は**合格者のみに案内する「入学手続要項」**において指示します。(入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定時から新入学料、新入学時諸費用及び新授業料を適用します。)

※1 入学時諸費用は、通学中や教育実習などの活動中の事故等に係る保険料(4年間分)、教育研究経費、大学行事、就職、課外活動及び福利厚生への支援など様々な学生支援事業のための費用で、入学時のみの費用です。

また、本学では、すべての学部学生に「教材用パソコン(インターネットに接続できるノートパソコン)」を用意していただくことになっていきますのでご承知おきください。教材用パソコンの詳細については入学手続後にお知らせします。(本学生協で教材用パソコンに適したものを販売していますが、仕様を満たすものであれば、他の市販のパソコンや既存のパソコンをお持ちいただくことも出来ます。)

○ 納入方法

入学料及び入学時諸費用については、合格者の方に案内する「入学手続要項」に記載の方法にて、入学手続時に納入してください。

- (3) 留意事項

ア **総合型選抜により入学する者は、本学が年内に行う入学前指導に参加してください。詳細は、合格発表時に連絡します。**

イ **総合型選抜の合格者は、他の国公立大学の一般選抜を受験しても入学許可は得られません。また、合格者が令和8年12月4日(金)までに「入学辞退願」(任意様式)を提出せず、入学手続を完了しないときは、合格を取り消されるとともに、他の国公立大学の一般選抜を受験しても入学許可は得られません。**

ただし、「16. 入学辞退手続」により本学学長の許可を得た場合は、この限りではありません。

ウ 入学手続完了者で高等学校を卒業できない場合は、入学許可を取り消します。

エ 入学手続完了後に本学への入学を辞退する場合、納入済の入学料はいかなる理由があっても返還いたしません。
オ 免除又は徴収猶予申請者が入学手続完了（免除等申請）後に入学を辞退した場合は、「免除等申請を辞退」したものとしますので、直ちに入学料を納入していただきます。

カ 入学料・授業料の免除及び経済的支援については下記の本学 Web サイトを参照してください。

愛知教育大学 Web サイト

HOME > キャンパスライフ > 学生支援関係：入学料・授業料・経済支援（免除・猶予・奨学金）について
> 学部生対象の経済支援について

https://www.aichi-edu.ac.jp/campus/support/menjo_nyugaku.html

入学手続に関するお問い合わせ先	学生支援課 TEL 0566-26-2173
-----------------	------------------------

15. 学生寮への入寮について

学生寮への入寮を希望する者は、合格者に案内する入学手続要項に記載の方法に従って申込みを行ってください。

学生寮についての詳細は、下記の本学 Web サイトを参照してください。

愛知教育大学 Web サイト HOME > キャンパスライフ > 学生支援関係：学生寮について

<https://www.aichi-edu.ac.jp/campus/support/dormitory.html>

学生寮に関するお問い合わせ先	学生支援課 学生寮担当 TEL 0566-26-2186
----------------	------------------------------

16. 入学辞退手続

総合型選抜の合格者は、原則として入学を辞退することは出来ません。しかしながら、やむを得ず本学への入学を辞退する場合、理由を付した「入学辞退願」（任意様式）を令和 8 年 12 月 4 日（金）までに提出し、本学学長の許可を受けなければなりません。この許可を受けずに他の国公立大学の一般選抜を受験しても入学許可は得られませんので、十分に注意してください。

17. 不合格者の再出願

- (1) 不合格となった者で大学入学共通テストを受験する者は、本学の学校推薦型選抜及び一般選抜を受験することができます。この場合、別途、出願手続及び入学検定料の納入が必要です。
- (2) 本学の学校推薦型選抜を受験する者は、「令和 9 年度愛知教育大学学校推薦型選抜学生募集要項」、本学の一般選抜を受験する者は、「令和 9 年度愛知教育大学一般選抜学生募集要項」（令和 8 年 10 月中旬頃発表予定）により出願手続をしてください。

18. 教育・学習データ利活用について

本学では、「国立大学法人愛知教育大学教育・学習データ利活用ポリシー」を定め、日々の教育や学習に関するデータを取得し、そのデータを安全な方法で保持・分析を行い、客観的データに基づいて教育改善や学生等の学習支援を図るとともに、データ利活用から得られた成果を公開し、広く社会に還元することに取り組んでいます。

入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報とは、入学後、教育・学習データとして取り扱います。

【参考】「愛知教育大学教育・学習データ利活用ポリシー」

<https://kitei.aichi-edu.ac.jp/doc/auekitei/print/708.html>

19. 個人情報の取り扱いについて

- ① 本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人愛知教育大学個人情報保護規程」等本学の関係規定に基づき厳密に取り扱い、個人情報保護に万全を期しています。
- ② 本学では、出願時に提出された個人情報（住所・氏名・生年月日等）及び入学試験成績情報は、入学選抜に関する業務、入学後の奨学制度申請、修学支援業務及びこれらに付随する業務並びに「愛知教育大学教育・学習データ利活用ポリシー」に基づくデータに利用します
- ③ 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限りて独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に合否及び入学手続等に関する情報を提供します。

【参考】「国立大学法人愛知教育大学個人情報保護規程」

<https://kitei.aichi-edu.ac.jp/doc/auekitei/print/82.html>

20. 入学試験個人成績の開示

合格者発表後、総合型選抜の個人成績（総合点）を出願サイトにて開示します。

21. 安全保障輸出管理について

愛知教育大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「愛知教育大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際し、厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「愛知教育大学安全保障輸出管理規程」

愛知教育大学規程集 <https://www.aue-kitei.jp/auekitei/index.html> より

第 10 章 研究連携・研究支援＞国立大学法人愛知教育大学安全保障輸出管理規程

経済産業省「安全保障貿易管理」 <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

22. 「こども性暴力防止法」に関する対応について

令和 8 年 12 月 25 日から、「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」がスタートし、18 歳未満の児童等に対して教育・保育などを行う学校、保育所、学習塾などの事業者には、性暴力を防ぐための取組が求められています。

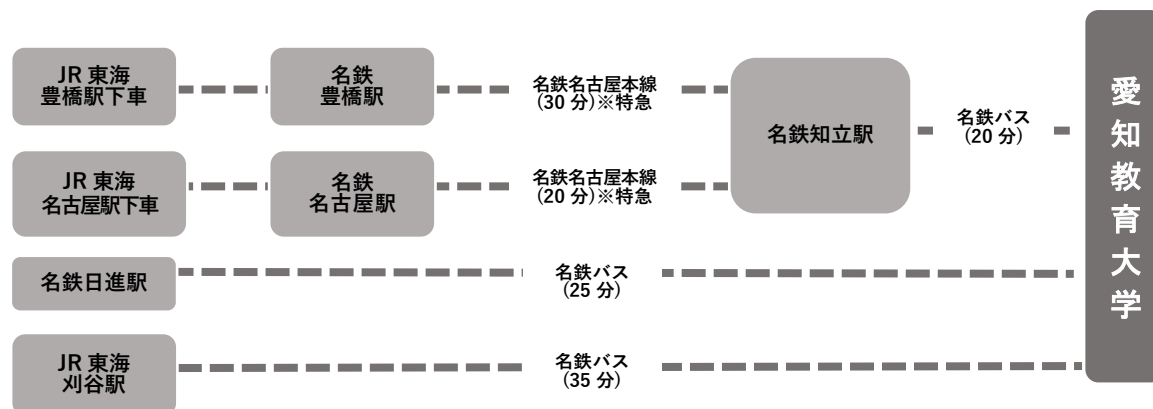
大学における教育においても、教育実習、学校体験活動といった授業やクラブ・サークル、ボランティアといった課外活動など、学生がこどもと接する活動（以下「実習等」という。）の機会が数多くある本学にとって、児童等への性暴力防止の推進は務めであります。本学は、同法の趣旨にのっとり、関係の事業者と連携の上、適正に対応してまいります。

このとき、同法の取組として、実習等の活動先となる学校等の事業者から実習等参加学生に、特定性犯罪前科の確認を求められる可能性もあるところ、犯罪事実が確認されれば、必修科目の授業はもとより種々の実習等を行うことはできなくなり、教育職員免許状等の資格取得や卒業・修了に影響する可能性が生じますので、これらのことについて、入学時に「同意書」を提出いただくこととしています。

【参考】「愛知教育大学における「こども性暴力防止法」に関する対応について」

<https://www.aichi-edu.ac.jp/intro/files/r7kodomoseibouryoku.pdf>

◆ 愛知教育大学へのアクセス



- 名鉄名古屋本線「知立駅」北口からバスで約 20 分「愛知教育大前」下車
- 名鉄豊田線「日進駅」からバスで約 25 分「愛知教育大前」下車
- JR 東海道本線「刈谷駅」北口からバスで約 35 分「愛知教育大前」下車

※鉄道・バスの発着時刻等については、各交通機関の Web サイト等でご確認ください。

※本文内容等に変更が出た場合は、本学 Web サイトにて公表しますので、ご確認ください。

問い合わせ先

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1 愛知教育大学 入試課

TEL 0566-26-2202 FAX 0566-26-2200

Mail nyushi-madoguchi@aecc.aichi-edu.ac.jp

Web サイト <https://www.aichi-edu.ac.jp/>

※電話等によるお問い合わせは必ず志願者本人が行ってください。

「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「宣言参加大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

詳細は、「<http://www.nyushikakomon.jp>」にて公表しています。不明な点等がありましたら、本学入試課へお問い合わせください。